

気象庁からのお知らせ

～ 2週間気温予報・早期天候情報～

気象庁では、6月から新しく「2週間気温予報」と「早期天候情報」を提供する予定です。

これまで、2週間先までの著しい高温や低温が見込まれる場合には「異常天候早期警戒情報」を発表してまいりましたが、近年の予報技術の向上などにより、より充実した情報を提供します。

「2週間気温予報」の特徴

○ 2週間先までの予報を毎日発表

2週間先までの予想気温を毎日提供することにより、日々の「高温⇒低温」、「低温⇒高温」などの気温変化の傾向が分り易くなります。

○ 対象地点毎に最高・最低気温を予想

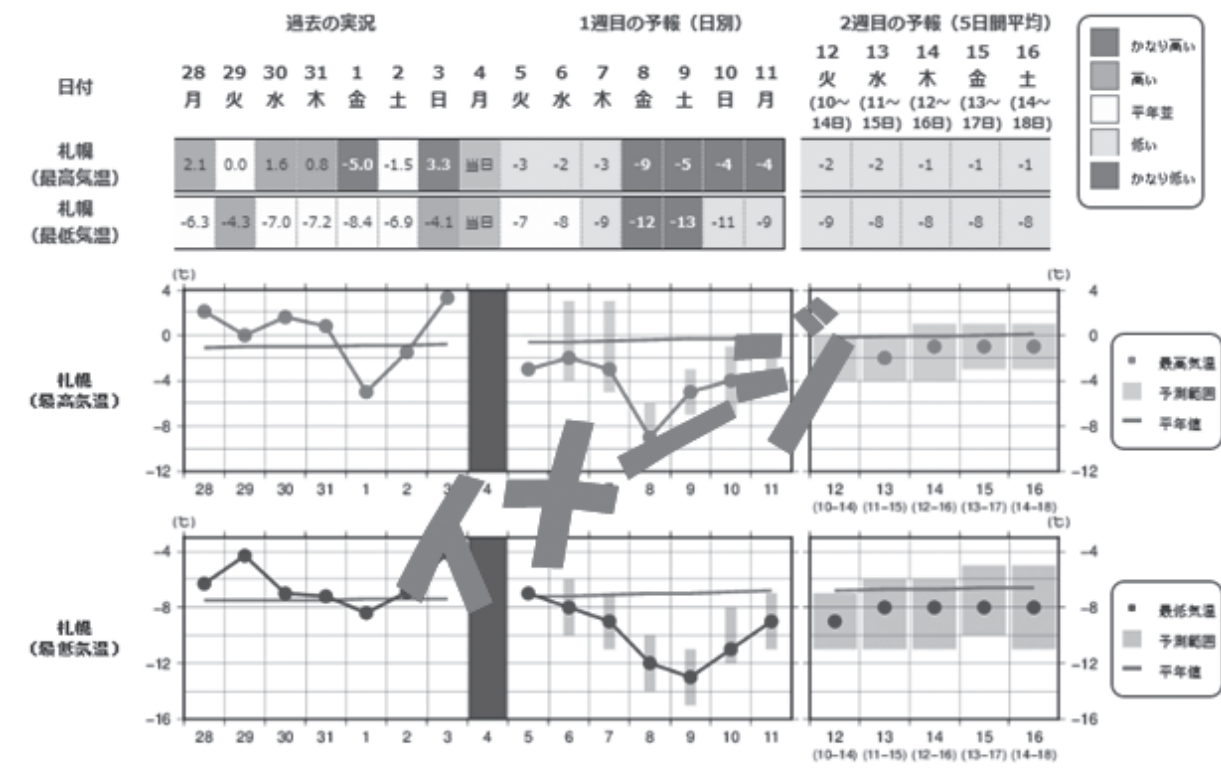
平均気温（5日間平均の地域平年差）の予想に加えて対象地点ごとの最高・最低気温も予想します。これまででは平年より「かなり高い」や「かなり低い」など階級のみでの予想でしたが、これからは最高・最低気温の予想値（5日間平均）を発表します。気温を直接確認出来るためイメージがしやすくなります。

○ 実況から予報までをワンストップで表示

7日前から2週間先までの気温をワンストップで表示します。今の気象庁HPでは、実況と予報はそれぞれ別に確認しなければなりませんが、1画面で確認する事が出来るため、気温の推移が分り易くなります。

また、5日後から14日後に著しい高温や低温が見込まれる場合、従来の「異常天候早期警戒情報」に替わり「早期天候情報」を気象庁HPにより発表します。

著しい高温・低温は、農業、電力、製造・販売などの産業界に幅広い影響を与えるほか、猛暑や寒波などは生活にも大きく影響します。例えば2週間先までに顕著な高温になる可能性を事前に把握することで、熱中症への対策を早めにも出来ますのでご活用ください。



◎お問い合わせ 札幌管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課 電話 011-611-6174